

さざなみ

〈ミッション〉 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

〈ビジョン〉 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

ジオテツ工房 池内 孝行 様より寄贈



東急デハ 3455 が繋ぐご縁に感謝

いすみ学園のシンボルとして皆様から親しまれてきた東急デハ 3455 は、戦災という大きな試練をくぐり抜け東急電鉄から寄贈された貴重な車両です。製造から 91 年を迎えた車体は錆が酷くなり床は穴が開き危険のため使用禁止となっています。車両を横目で見ながら修繕費も何とかしなければと思いつつ構想をクラウドファンディングに着目して調べ始めたのが 1 年半前ごろとなります。私が学園に勤務して最初の感動が電車内でお昼をとる利用者さん達の明るい笑顔でした。食後に座席でお昼寝をする人もいれば、午後からの仕事が始まるまでの僅かな時間に外の景色を眺めながらお茶をすすする「くつろぎ空間」となっていました。あの頃のようにのんびりと流れる時間を車内に取り戻したいという思いが長く続きました。何よりも学園と共に歩み続けてきた仲間を未来に残したいという思いでクラウドファンディングへ踏み切りました。

プロジェクトを達成させるため、成功者からの助言をと考え、真っ先に「ポッポの丘」の代表者から活動方法などを聞き取りさせていただきました。長沼事務長と手分けをし多方面へ告知活動を行い、学園の Instagram も開設しフォロワー獲得に努めました。そこで本物と見間違えるほどの電車とジオラマを投稿していた「ジオ鉄+1」の池内様との出会いがありました。9 月 12 日に当たって砕けろの精神で「東急デハ 3455 の模型作成は可能ですか？」とメッセージを送ると翌日には二つ返事で協力して下さる意を伝えてくださいました。嘘のような本当の話。その出会いから約 2 か月後、模型が寄贈されました。「お金をかけずに空き箱、石粉ねんど、廃材等を使った手作り鉄道模型を投稿します。徐々にラインナップしていきます。」とあったように「お金を掛けないのがポリシーですので無料ですよ。安心してください」と回答も頂いていました。結果、神戸を前夜に出発した池内様は奥様と雨風の強い中、午前 9 時、大切に届けてくださいました。横幅 90cm もある大作は細部まで忠実に再現され、見る人すべてに夢と感動を与えてくれています。1 通のメッセージから素晴らしい電車模型のデハ 3455 はジオラマと共に学園の宝となりました。この出会いはクラウドファンディングとデハ 3455 が繋いだご縁、財産だと思います。そして人から人へと繋がるご縁にこれほど感謝する日々はございません。

今回、このプロジェクト立ち上げ時から告知活動に協力をしてくださる方々、そして支援者から届く数々の応援メッセージに感謝し、皆様の「想い」を車両と共に大切にしていきます。今、おかげさまで第一目標とネクストゴールも達成し、ラストゴールに向けて更なる告知活動を展開しております。1 月 15 日終了までの残りの期間、全力で走り続けていきますので、皆様には最後まで応援よろしく願いいたします。

(事務次長 土屋 早苗)

クラウドファンディング
QR

利用者新年の抱負

元気な一年にする。(崇嘉)

仕事を休まないで、グループ実習に行きます。外作業にも行きません。

(正巳)

運動を頑張りたいです。

(俊哉)

皆と仲良く過ごしたいです。

(恭平)

毎日、楽しく、元気に過ごしたい。

(隆明)

皆と元気に過ごしたいです。(陽一郎)

(陽一郎)

毎日の運動を頑張ります。そして美味しいコーヒーをたくさん飲みます！

(清)

明るく元気に過ごします。

(賢治)

健康・安全！そして笑顔の一年になりますように。

(拓也)

皆と、楽しい思い出を沢山作りたい。

(功博)

美味しい物をいっぱい食べたい。

(直人)

健康な毎日を過ごしたい。

(勇)

毎日元気に過ごしたい！お母さん、お姉さんと楽しい時間を過ごしたいです。

(伸和)

健康第一。美味しい物を沢山食べたい。

(知之)

健康で元気な毎日を過ごしたい。

(肇)

美味しいものをたくさん食べたいです。

(龍司)

笑顔で元気に楽しく毎日を過ごす。

(大作)

毎日元気に過ごしたい。コーヒーを飲みたい。

(隆行)

健康第一に笑顔で楽しい毎日を過ごす。

(次郎)

家族と一緒に美味しい物を食べたい。

(直樹)

今年も健康で楽しい一年になりますように。

(和彦)

健康に過ごし、お出かけもいっぱいしたい。

(忠弘)

石鹸班の仕事を頑張ります。

(洋)

体調を崩さず元気に過ごしたいです。

(勝己)

健康を第一に、楽しく過ごしたい。

(伸泰)

新しいゲームが欲しいです。(陽介)

健康第一。楽しく学園生活を送りたいです。

(健夫)

完璧でなくても良いから決して問題なく過ごしたい。

(美由紀)

おしごとがんばります。

(康恵)

加工棟のお仕事を頑張って、旅行も買いたい物も外食も楽しみたいです。

(麗子)

毎日笑って鼻歌ルンルンで過ごせるようにしたいです。

(美千代)

毎日笑って鼻歌ルンルンで過ごせるようにしたいです。

(潤子)



また、マザー牧場に行きたいです。

(哲)

卒業まで自立に向かおう。将来はこれから。

(順二)

笑顔でが絶えないハッピーな年になりますように。

(諒)

ウォーキングを頑張りたいです。

(直行)

毎日元気に過ごしたいです。

(裕輔)

感謝の気持ちで毎日を過ごす。

(功)

健康で楽しく過ごします。

(陽)

一生懸命お仕事頑張ります。(真砂子)

家族みんなで過ごせる日がたくさんあるといいな♡

(明子)

沢山お出かけして、美味しい物を食べて、元気に楽しく過ごしたいです。

(文子)

さをり織りを頑張りたい。

(あけみ)

美味しいものを食べて元気に過ごしたいです！

(昌子)

力の限り努力し、どんな仕事も誠実さと明るさで頑張ります。

(由紀)

毎日元気で明るく過ごし、お家に帰ったら家族とマック通いをしたい。

(侑子)

健康で家族の頼み事の達成が去年よりも一つでも多くできますように。

(清伸)

笑顔で過ごせる日が多い一年にしたいです！

(文宏)

毎日元気に通います。

(理絵)

旅行や相撲観戦に行きたいです！

(透)

西川のお仕事頑張ります。

(二夫)

さくらの家でのんびりと過ごしたい。

(智司)

おいしいパンが食べたい。テレビに出てみたい。

(間子)

健康に楽しく過ごしたい。

(恵里子)

たんぼの家でイタズラをしません！

(岩雄)

仕事を頑張りたいです！

(和好)

盛り付けがうまくなりたいです。

(富美)

けがをしないようにお仕事がんばります。

(恵里)

(江美)

年頭のご挨拶

社会福祉法人 榎の里 理事長 岡部 一 邦

明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

既に歴史の一駒となった2023年ですが、ロシアが理不尽にもウクライナを侵略してから、2月には2年が経過いたしますが、展望のない戦闘の中で多くの市民や兵士の尊い命が奪われ、現在も泥沼の戦いが続けられています。中東ではイスラム組織ハマスが突然イスラエルに侵襲し、子どもや女性を含む多数の人質を拘束したテロ攻撃に、イスラエルが反撃し、ハマス掃討を理由にガザ地区の病院や学校にも空爆を繰り返し、罪なき市民の生命が日々奪われる惨状が続いております。

「人道的休止」も7日で打ち切れ更に暴力の応酬が始まってしまいました。各国の努力により、ウクライナとパレスチナ自治区に、1日も早い停戦と平和が実現することを祈るばかりでございます。

こうした国際紛争による世界的な物流障害や円安・ドル高による物価高騰の波が私達の日々の生活を圧迫しております。

新型コロナウイルスの発生から4年が経過しましたが、第9波に及ぶ変異株の襲来に見舞われ、昨年末からはコロナの感染状況は沈静化する中、インフルエンザが猛威を振るうというところで、マスクと手洗いが欠かせない生活が続いております。

クラスター発生という厳しい体験をしましたが、施設長の的確な指揮の下、職員の献身的な看護と感染防止対応によって、一人の重症者も出さず、全員が日常生活に復することができまして、心から安堵いたしました。

長引くコロナ禍のなか、保護者の皆さんには長期の面会自粛をお願いしてまいりましたが、「家族面会日」を予定どおりに開催し、久しぶりに交歓の時間を過ごしていただきました。

「日中活動」をはじめ、「学園旅行」や「夏祭り」も計画どおり実施しました。4年ぶりに開催した「榎の里祭」は好天に恵まれ、大勢の皆様にご来園いただき、友好・交流の輪を一層広げることが出来ました。

暮れには、恒例の「クリスマス・忘年会」を鴨川グランドホテルで開催し、美味しい料理とパフォーマンスに楽しい時間を過ごして参りました。

今年の干支は、十干の甲と十二支の辰の組み合わせから「甲辰」で、昨年までの努力が実を結ぶ年ともいわれておりますが、その年に学園は創立40周年の節目の年を迎えることとなりました。

今までの実践の成果をしっかりと検証するとともに、新たな時代への一歩を踏み出す年にしたいと考えております。これを契機に、職員一丸となつて、利用者の皆さんが大切な日々の生活を心安らかに送ることが出来るよう、支援に努めて参りますので、引き続き皆様のご指導ご支援をお願いいたします。

皆様には新年が穏やかで幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

『新年に寄せて』
四十年目の春を迎えて

保護者会長 谷 島 慶 彦

明けましておめでとうございます。皆様にご支援頂き、いすみ学園利用者はコロナ禍にめげず、明るく楽しく学園生活を送っており、心より感謝申し上げます。

さて、いすみ学園は本年四十年を迎えます。学園開設時の学園誌「さざなみ」創刊号の集合写真を見ると、利用者の幼さの残る顔が並び、又当時の職員さんも既に退職して開設から在職する人は皆無となり隔世の感が有ります。大人として生きる入所施設として、当初三十名の利用者で出発しましたがその後、幾多の規模や機能の拡充を経て、今はグループホームや通所の利用者も増え、今日の学園の姿となつており、学園開設に携わった一人として、四十年の想いが巡り感慨無量です。

いすみ学園利用者の平均年齢も五十歳半ばとなり、高齢化が進みつつあり年々、知的及び身体的機能低下は避けられず、今後利用者の生活の変化に繋がってゆくものと思われまふ。

コロナ禍はウイルスが変容しながら未だ終息せず、残念ながら、昨年は多数の利用者が感染に見舞われましたが学園のご努力により皆重症化に至らず終息する事が出来安堵致しました。

利用者は、日中は仕事に就き夜は仲間と過ごし、又余暇を楽しみ一方コロナ禍を耐えて、各々が学園生活になじみ日々を過ごしていますが、これは職員さんの長年の支援の積み重ねが有つての事と感謝しています。

コロナ禍では、面会中止の制限が続きましたが、学園では昨年感染症の推移を見ながら、日常の生活を取り戻すよう運営がなされ、特に秋には四年振りに「榎の里祭」が開催され、地域の方々にも多く参加いただき又、保護者も利用者と共に、晴天の園庭で楽しく過ごす事が出来ました。保護者会は学園の方針に沿って、各行事や余暇活動の援助に努めてきております。

学園開設から四十年の歳月は親の老齢化もやむを得ず、最近では利用者の面会も兄弟姉妹に付き添われて来る親も増えていますが、毎回多くの家族の出席が有り、利用者への思いやりを強く感じています。利用者も仲間と職員さんとなじんだ環境で、且つ家族に見守られながら学園生活を過ごしています。

将来に亘り利用者の命が輝ける様、毎日楽しく充実した生活を送る事を願っており、保護者会は今後も学園に協力して応援していく所存です。

本年も皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。



思い出

※外作業B班、万木(日帰り)班は次号のさざなみにてお知らせします。

万木A班
10/10～11

1日目は神奈川県にあるズーラシアへ。動物園の工夫で大きな柵など視界を遮るものがない展示環境で、自然な生活の様子に見入っていました。動物と触れ合い、レストランで



1日目は千本松牧場で動物を見たりおやつを食べ、亀の井ホテル那須塩原に宿泊。

2日目はチーズガーデン珈琲にておやつを食べたり、お土産を購入し、昼食は佐野パーキングにて。お腹いっぱい、笑顔いっぱいの万木B班でした。



須
NBONMATSU FARM
SINCE 1893
松牧場

万木B班
11/1～2外作業A班
11/20～21

久しぶりの班旅行。一日目はマザー牧場へ行き羊のショーや美味しい昼食を食べ、鴨川の亀の井ホテルに宿泊。夕食、朝食はバイキングでお腹いっぱい食べました。

二日目は天気も良く野島崎灯台へ行き、景色を楽しみました。



旅の思



グループ実習班旅行
9/7～8



待ちに待った旅行！ぶどう狩りでは自ら摘んで食べている笑顔が印象的でした。

日光東照宮では参拝をしてきました。宿泊先は日光三日月ホテル。温泉につきり日頃の疲れを癒し、夕食はバイキング形式で色々な料理に満足し、1泊2日の旅行を満喫してきました。



好きなものをそれぞれ選んで食べ、とても楽しく過ごしました。鴨川亀の井ホテルに宿泊したので、2日目は昼食を御宿の白鳥丸で食べ、海の幸も堪能しました。久しぶりの遠出にみなさん喜ばれ、笑顔で元気に帰ってきました！



加工班
6/29～30



旅行先は那須塩原。1日目はテディーベアミュージアムへ。テディーベアだけでなくとなりのトトロの展示もあり、とても楽しく過ごしました。

2日目は那須サファリパークへ行く予定でしたが、あいにくの雨の為、ステンドグラス美術館へ変更になりました。とても幻想的で、雨でも楽しむ事が出来ました。昼食を千本松牧場で食べ、ソフトクリームも堪能して元気に帰ってきました。

石鹸班
7/12～13

いざ、山梨!!
宿泊先はシャトレゼホテル石和
シャトレゼのスイーツは勿論、ほうとうや桃のグルメ、ラベンダー観賞、富士山の写真美術館見学など山梨を思う存分満喫しました♪



第三者評価利用者調査

いすみ学園では「東京都福祉サービス第三者評価」を毎年受審しています。これは、第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促す事で、利用者本位の福祉の実現を目指すものです。今年度は「株式会社福祉規格総合研究所」に依頼し九月十三日に利用者調査が実施されました。このあと経営層・管理職への聞き取り調査も行われ、これらの調査結果は「とうきょう福祉ナビゲーション」にて後日公表されます。福祉サービスの質の向上、利用者主体の支援のために今後も毎年実施していきます。

(支援主任 岩瀬祐三子)



職場内研修

交流分析(T・A)の研修を受けて



現在は人生百年時代と言われており、この長い人生をどう過ごしたら良いのか今後どう行動すべきかを考えさせられました。また、自己変革の方法の一つエゴグラムのチェック項目により、今の自分の性格や行動が浮き彫りにされ、とても面白かったです。そして、人間関係は職場でも家庭でも避けて通れない事で、相手の存在を軽視する事なく、状況を変えたり考え方を変える事でより良い人間関係を築く事が大事だと学びました。自己を見つめなおす良いきっかけになり、勉強になりました。ありがとうございます。

(支援員 秋葉 智子)

とても興味深く、面白く感じる研修でした。人生百年時代の話から始まり、川端先生のエピソードを交えつつ、分かりやすく講演していただき本当に心地良く拝聴することができました。今更ながらですが、自分を見つめ直し、自己を再認識できた気分です。そして自分を変えてみたいと思いました。エゴグラムを通して自我状態の側面を科学的に捉え直し、個性としての強み、そして弱さを補いつつ、人(社会)に接していくことの大切さが分かりました。

いすみ学園利用者の方々への支援の在り方の指針、ヒントもたくさん学べる研修でした。「自己改革」素敵ですね！

(支援員 甲木 秀文)

図書コーナー

十亀史郎講演集より
「私たちの目指す道」

障がい者の労働と社会参加



十亀先生の著書に触れることは、とても引き締まる思いになってしまふ。高茶屋病院精神科のドクターとしての多くの患者さんを診てきた経験より、「自閉症」に着目して医療(薬物)だけではなく生活支援を重視した「あすなろ学園」が三重県立小児診療センターとして一九六四年に発足し、そこから多くの自閉症に携る人材を輩出した経緯があります。何よりも自閉症の正しい知識を世に知らしめてくださった功績は、後々多くの研究者や我々にとって支援の在り方の礎になりました。法人を創立するにあたり、三名の著名な先生に「これからの入所施設に期待すること」を共通テーマとして公演して頂き、編集したものが「学園紀要」です。毎年四月の理念研修の教本として四十年が経過しても変わらず大切にしています。

サブテーマとした私たちの目指す道―障がい者の労働と社会参加は、十亀先生に講演していただいた話に属します。公演時の事や、十亀先生に纏わる些細な事をも初代施設長の原井先生と酒を酌み交わしながら未来を思い描き、社会に目を向けていくことの重要性など談義したことを思い出します。

自閉症を取り巻く環境は大きく変わりましたが、変わるべきこと、変えてはいけなことを理解して人生をサポートしていきます。

(施設長 堂下 勉)

職場体験



昨年十一月に職場体験として地元の中学校の生徒さんを二名お迎えしました。二日間の体験を終えて素晴らしい感想文をいただきましたので、ご紹介します。

私は今回、コミュニケーションの違いや多様な社会、福祉への興味からいすみ学園を選びました。最初に来た時は、慣れない環境での不安や利用者さんとの仕事で自分が伝えたいことが伝わらず弱気になっていたこともありましたが、一緒に仕事をする中で段々と自分の伝えたいことが伝わったり、仕事にも慣れることができた、職場体験が楽しくなりました。

今回の学習を通して、多様な社会を感じることで、私も福祉関係の仕事に関わっていききたいと思いました。

(I・M)

私は二日間という短い時間だけでしたが石鹸班でたくさんのかを学びました。特に印象に残っていることは、石鹸班の皆で一生懸命に石鹸を作っていることです。人によってできる仕事や苦手な仕事がある中で、自分の得意なことを活かし、一つ一つ手作業で思いを込めて作っていました。

最初に来た時はなじめるかどうかとても不安でしたが、皆さんが親切に接して下さい、安心して仕事をする事ができました。この経験をこれからの生活に活かしていきたいと思っています。ありがとうございます。

(Y・Y)

槇の里祭

コロナ禍で、数々の行事の中止や縮小が余儀なくされていましたが、十月二十一日に四年ぶりに槇の里祭を開催することが出来ました。

今回のテーマは「笑」。利用者の方々はこの四年間、外出や帰宅も制限され、我慢の連続でした。久しぶりのこのイベントを、みんな笑顔で参加してもらいたいという想いで、このテーマに決めました。

オープニングは大原中学校吹奏楽部の演奏。ウクレレやフラダンスもステージを盛り上げてくれました。また、職員の有志による「よつちよれ」や「ジャンボリーミッキー」。お客様やボランティアの方々にも参加していただき、大盛り上がりでした。

毎度好評の激安バザーは、感染症対策のため、整理券を配布して実施。今回もやはり大盛況で「安い」という声を沢山いただきました。模擬店も早々に売り切れが出るほどでした。

お客様が帰る際に、「楽しかった」「また来たい」という方が多く、とても嬉しかったです。そして、改めていすみ学園が地域の皆様に支えられていることを感じられた瞬間でした。

一日を通して、沢山の笑顔を見ることが出来ました。やはり「笑」は人を幸せにしますね。

この度、槇の里祭に協力していただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(支援員 吉田 友希)



約四年ぶりとなる鴨川グランドホテルで開催しました。学園からマイクロバスに乗り、海を見て景色を楽しみながらグランドホテルに到着しました。クリスマス忘年会では、クリスマスにちなんだ、特別メニューを楽しみました。ローストビーフ、チキン、ケーキ等豪華な料理が並び、皆さんとても美味しそうに食べていました。各班の一年間を振り返るトピックス サンタさんからのプレゼント、皆と一緒に歌ったクリスマスソングと、皆さん笑顔で楽しそうにしていました。今回、学園を出ての開催となりましたが、コロナでの自粛がなくなり、外食が当たり前になる生活になることを願っています。

(支援員 長田 圭司)



ボーナス外出

今回も皆さんの希望に沿った、食事やお買い物を楽しんできました!!

12月15日・16日



G実習班



加工班

ほくとせい
北斗星
HOKUTOSEI
食卓 YOKUZI COFFEE



3A班



万木A班



石けん班



3B班



万木B班



復活！年末恒例餅つき大会
月日の流れは早いもので、クリスマスも過ぎ去り、新年を迎えるカウントダウンが始まりました。年末の恒例行事となっていた餅つき大会も、感染症などの影響により、しばらく中止となっていました。が、十二月二十六日に久しぶりに再開されました。
今年最後の締めくくり行事となり、白に入った蒸しあがりもち米を前に大声で「よいしょーよいしょー」と活気ある掛け声に合わせて利用者一人一人が力一杯、杵を振りかざし、新年の健康と幸福を願いながら餅をつき上げました。
つき上がったお餅はレオックさんの協力で、お汁粉にして頂き、美味しい甘味を堪能し、年末のゆるやかなひと時を楽しむことができました。
(統括主任 田邊 清万)



皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〔寄附者〕
・大谷明子・グローリージャパン・渡邊みよ子・(株)みつやま・西村博之・F・rie・オーナー・阪本紀子・竹内詠子・山崎泰子・御園和子・鴨川シール・山崎泰子・御園和子・藤江裕・皆川会計事務所・松本晴男・マザー牧場・市原ぞうの国・加藤誠二・ASA夷隅・大原・青木晶子・いすみ荻谷郵便局・コカ・コーラ・イーストジャパン・ブルドック・ソリス・(株)市村陽子・ス・通信システム・(株)市村陽子・東京都市社会福祉協議会・山沖美佐江・赤尾由紀・山本由香・トレジャー・タウン・猪股知十・佐藤幸子・関百合子・竹松富士子・丸島良子・ジブラルタル生命保険・(株)トイー・千葉トヨタ自動車・(株)大多喜店・(株)秋葉商店・三菱重工冷熱・(株)岡村伸枝・伊澤博子・(株)東基・庄司洋子・佐藤謙治・農園・東京城西口・イタリークラブ・おおぞね・江澤徳子・大山友紀・田眞一・松平よしこ・斉藤みね子・岩見沙織・竹内実・鈴木礼子・松永尚子・松下ルリ香・第二クロ・川信太郎・阿部榮子・平田孝行・野上麗奈・柳澤奈津子・子山ホーム・小美咲・林田民三・林田利茂子・西村浩樹・皆川明良・清水映子・石田愛・小林悟・(有)石野薬局・平なおこ・町田修一・(有)岬サビス・(株)西川・(株)米本工務店・(株)ビーアイエー・波多野電気管理事務所・川村優子・ジャパンフーズ・(株)レオック・山田かずよ・匿名

編集後記
「笑う門には福来たる」皆さんの笑顔溢れる一年でありますように。本年もどうぞよろしくお願い致します。(さざなみ担当 末吉・土屋・是枝)

題字は 荒牧俊哉 さんです。